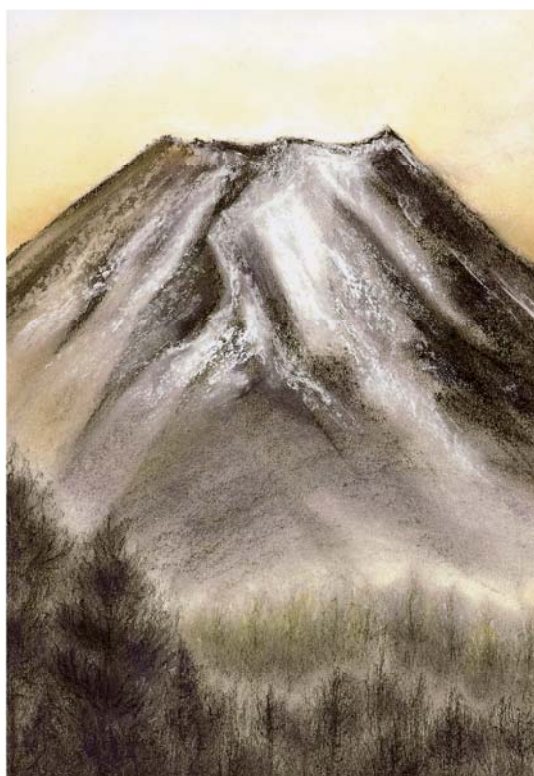


西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第397号 平成18年1月



『朝焼けの富士』
笹本隆夫

目 次

	頁		頁
1) 年頭のご挨拶	真鍋 勉 … 2	10) 地区だより	
2) 忘年クリスマス会	総務部 … 3	あきる野地区	鈴木道彦 … 14
3) 西多摩少年野球教室開催	総務部 … 6	羽村地区	武藤芳徳 … 14
4) 専門医に学ぶ	熊谷隆志 … 7	11) 各部だより	
5) 感染症だより	西多摩保健所 … 10	学術部インフォメーション	学術部 … 15
6) 第4回西多摩医師会臨床報告会演題募集	広報部 … 11	12) 理事会報告	広報部 … 16
7) 医療介護フォーラム 公開シンポジウム2006	広報部 … 11	13) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 21
8) 伝言板	広報部 … 12	14) 表紙のことば	笹本隆夫 … 22
9) 同好会短信 写真部写真展 細谷純一郎 … 14		15) あとがき	野本正嗣 … 22
		16) お知らせ	事務局 … 23



年頭のご挨拶

西多摩医師会 会長 真 鍋 勉

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

早いもので、現執行部の任期も残り3ヶ月余りとなりました。

振り返りますと、発足時4事項を会務の重点項目に挙げましたが、まず救急体制の整備に関しては、都を含めた協議を進める中で、3公立病院を核としたブロック単位の救急体制を構築するのが現実的であろうとの観点から、青梅市立総合病院と本医師会が協定を結び11月から「地域連携小児夜間、救急診療」がスタートしました。

多摩地区の自治体病院としては初めてということもあり注目を集めていますが、今後の成果を見守り、他の2公立病院の救急体制につなげたいと思います。

公立福生病院については、新病院の体制作りの一つとなる「開放型病院」の開設に当たり登録医制度が発足しました。2度にわたる病院と福生、羽村、瑞穂地区医師会正副会長との会合で諸角院長は「気楽に病院に足を運んでもらうこと」から始めたいという意向ですが、圏内で初めての試みであり、病診連携の具体例ですから、成功させるために会員の皆様のご協力をお願いします。

IT化については、基盤整備が終わりそれを運用する段階に入りました。連携の中核となる3公立病院には既にそれぞれのシステムが稼動しており、それらとの統合が今後の課題と考えます。

最後は会館問題ですが、諮問委員会で検討中ですが間もなく答申が出るものと思います。

さて、去年は介護保険制度の改定に続き診療報酬の改定が行われ本体部分は過去最大の3.16%の引き下げとなった訳ですが、今回は総選挙後から日医の対応の鈍さが目立ち残念な結果になりました。結局社会保障制度の基本的な理念に対する議論は全くみられず、財政面の対処療法に終始した感があります。理念のない改革は、地図のない航海のように極めて危険を伴います。つまりは、世界に誇りうる国民皆保険制度の崩壊につながりかねません。今回の改定を機に次に来る制度崩壊に危機感をもって対応しなければならないと思います。

本年もなお一層会務へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

西多摩医師会忘年 **クリスマス会。**

真冬のような寒さが続いていた12月12日(月)に恒例の西多摩医師会忘年クリスマス会が昭島の「フォレストイン昭和館」で開かれた。参加人数は会員が62名(A会員42名、B会員20名)、職員や家族が82名、その他子供達が20名くらいでほぼ例年同様だったが、会員の参加は昨年より約10名多かった。

7時半を若干回ってから開宴し、最初に真鍋会長が挨拶され、続いて監事の松原先生のご発声で乾杯した。医療費改訂の時期なので、お二人の先生ともに厳しい見通しについて話されていたが、今宵一夜は楽しく過ごそうということで、立食パーティーに移った。料理は例年通りに用意したのだが、今年はあつという間になくなってしまい、遅れてみえた方の前には空の皿が並ぶという事態になり、担当理事としては申し訳なく思い、反省しております。予算の問題もありますが、量と質(お腹にたまるもの)の検討が必要というのが反省点です。もうひとつ反省点があり、それは各テーブルに灰皿を用意してしまっただけです。去年は分煙したのに、今年は後退してしまいました。

会員の先生方に協力していただいて子供たちへプレゼントを配った後に、アトラクションとして青梅の誇るソプラノ歌手の三井桃子さんにピアノの鈴木素子さんの伴奏で歌っていただいた。クリスマスソングやミュージカルのナンバーなど30分ほどの演奏だった。立食パーティーではどうしても騒がしくなっていてアトラクションが難しいが、じっと耳を傾けてくださる方も結構いて、担当者としてはほっとした。特に子供達は熱心に聞いてくれていた。

演奏の後は恒例のくじ引きを行なった。今年の1等はお正月を前に江戸切子酒器セットにした。くじ引きの後に三井さんと鈴木さんに再度演奏していただき、玉木副会長の挨拶で閉宴となった。玉木先生も医療費改訂の厳しさに触れながらも、積極的に仕事をすれば希望はあるという話をされた。頑張れる人は頑張りましょう。頑張れない人はそこそこにといいところでしょうか。あつ、これは小生の独り言です。

(文責：総務部福祉担当理事 中野和広)



(写真撮影：宮下吉弘)





第一回西多摩少年野球教室 開催される

西多摩医師会主催、8市町村教育委員会後援、第一回西多摩少年野球教室は底冷えのするあきる野市市民球場で12月4日、地元少年野球33チーム、約300人が参加し開催された。

総務部長の横田理事の司会で、真鍋会長の挨拶に始まり、今回講師として参加した7名の現役プロ野球選手、元選手を代表して東海大学菅生高校出身の中野渡進さん(元横浜ベイスターズ)が挨拶、講師のデモの後、投手、捕手、野手など各ポジションに分かれて指導が行われた。また、万が一の事故に備え、医師会から救護班として小机副会長、瀬戸岡理事が待機したが、何事もなく12時30分小机副会長の閉会挨拶で無事野球教室は終了した。



(文責：総務部 横田卓史)



専門医に学ぶ 第13回

問題

【症 例】 76 歳女性

【主 訴】 腰痛、貧血、高蛋白血症

【家族歴】 特記すべきことなし

【既往歴】 特記すべきことなし

【現病歴】 数ヶ月前から腰痛があり、徐々に増強したため近医を受診。鎮痛剤を処方されたものの改善みられなかった。さらに血液検査にて軽度の貧血および高蛋白血症が認められたため、当院血液内科を紹介された。

【現症】 体重 48kg、身長 156 cm、B.P 124/68、P 68/min 整。眼瞼結膜に貧血を認める。胸部、腹部正常。表在リンパ節腫脹なし。

【検査所見】 近医にて行なわれた血液検査、蛋白分画検査の結果を以下に示す。

(検尿) 比重 1.013, pH 6.0, WBC (-), T.P(-), Glu (-), O.B (-) 沈渣 正常

(血算) WBC $6790/\mu\text{l}$, $\text{RBC} 283 \times 10^4/\mu\text{l}$, Hb 9.2 g/dl, Ht 28.0 %, MCV 99 fl, MCH 32.5 pg, MCHC 32.9 %, Plt $23.5 \times 10^4/\mu\text{l}$
白血球分画 Stab 38%, Seg 30%, Lymph 25%, Mono 6%, Eos 1%

(生化学) T.Bil 0.2 mg/dl, GOT 21 U/l, GPT 7 U/l, LDH 159 U/l, T.P 11.0 g/dl, A/G 0.58, ALP 355 U/l, Alb 3.2 g/dl, CPK 79 U/l, BUN 14.0 mg/dl, UA 7.0 mg/dl, Cre 0.77 mg/dl, Na 132 mEq/l, K 4.2 mEq/l, Cl 102 mEq/l, Ca 9.7 mg/dl (補正值 10.5), P 2.5 mg/dl, CRP 0.34 mg/dl

(血清蛋白分画) Alb 36.6% (正常値 61.8-71.1), α 1-globulin 2.4% (2.0-2.9), α 2-globulin 6.8% (5.8-8.8), β -globulin 5.7% (7.1-10.2), γ -globulin 48.5% (10.8-19.7)

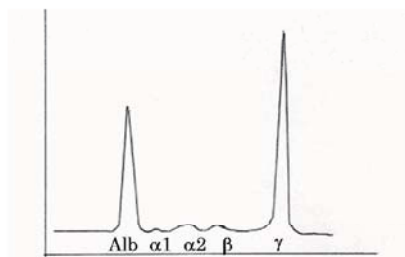


図1 血清蛋白分画 (電気泳動法)

【問題1】 蛋白分画検査 (図1) では、どのような異常が見られているでしょうか？

当院にて追加検査を行い、さらに以下のような検査結果を得ました。

(1) 血清免疫グロブリン IgG 5240 mg/dl (正常 820-1740), IgM 100 mg/dl (正常 90-400), Ig A 40 mg/dl (正常 52-270)、血清及び尿免疫電気泳動にて、IgG- κ 型のM蛋白を認めた。尿 Bence Jones 蛋白陰性。

(2) 骨髄穿刺を行い、異型性の強い形質細胞 (plasma cell) が全体の約30%に認められた。赤血球連銭形成も認められた。(May-Giemsa 染色 X 1000) (図2)

(3) 腰椎 MRI では L3 を中心に圧迫骨折が見られ、骨折部位の T1 強調画像は低信号、Gd 造影で淡い染まりが見られた。(図3)

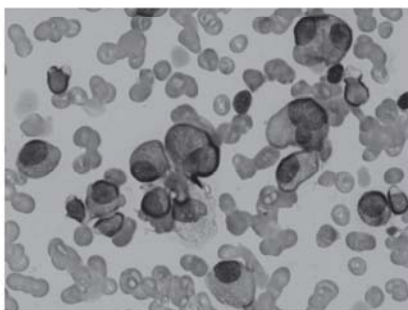


図2 骨髄所見 (May-Giemsa 染色、x1000)



図3 腰椎 MRI 所見 (左は T1 強調画像、右は T1、Gd 造影あり)

【問題2】 診断は何でしょうか？

解答と解説

青梅市立総合病院 血液内科副部長 熊谷 隆 志



高齢者が腰痛などの骨痛を訴え、血液検査で貧血や高蛋白質血症が見られる場合は、多発性骨髄腫を念頭におく必要があります。しか

しながら、高齢者の腰痛の訴えは非常に多く、また、軽度の貧血もしばしば見られるため、見逃されやすい事も事実です。

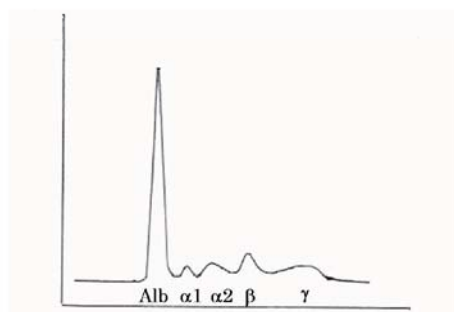
もう1つの高蛋白質血症が重要な所見です。高蛋白質血症が見られた場合、血清蛋白分画(血清中の蛋白質の内容、量を電気泳動法により知る検査)が、簡単なスクリーニングとして有用です。蛋白分画検査で γ -globulin 分画の上昇、M峰の出現(単クローン性蛋白=M蛋白の出現)が見られた場合は、多発性骨髄腫の疑いがありますので、専門医(血液内科)に紹介していただければと思います。

補足事項ではありますが、骨髄腫の患者さんは腎障害を合併しやすいため、痛み止めとして使用されるNSAIDsには、十分な注意が必要です。(基本的には禁忌です。)

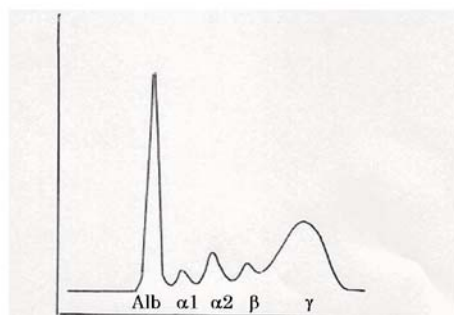
問題 1

蛋白分画の検査では、通常、血清中の各種蛋白質の割合を示す数値と、電気泳動に基づくグラフが結果として手元に戻ってきます。参考のため、正常の蛋白分画検査で得られるグラフを示します(図4-A)。これと比較する、この患者様では、 γ -globulin 分画(グラフの右の山)が増大し(量の増加)、M峰の出現(単クローン性のM蛋白であるため、山の幅が狭く、山頂が尖ったようなM峰を形成)が見られています(図1)。M蛋白の多くは、単クローン性の(血液)悪性腫瘍細胞から産生されます。感染症や自己免疫疾患などでもしばしば γ -globulinが増加しますが、多くは多クローン性であり、分画をしめす山が上昇しても幅が広く、M峰は形成しません(図4-B)。

(問題1 解答) γ -globulin 分画の増加、M峰の出現が見られる。(γ -globulin がM蛋白として増加している。)



(図4-A) 蛋白分画 正常例



(図4-B) 蛋白分画 多クローン性高 γ -globulin血症の例

問題 2

腰痛、貧血、高蛋白質血症があり、血中M-蛋白が出現していますので、多発性骨髄腫を疑う必要があります。この症例では高Ca血症も見られています。さらに、(1)血清中にIgG- κ 型のM蛋白が著明に上昇、(2)骨髄中で骨髄腫細胞と思われる異型形質細胞が増殖し、(3)MRIにて病的圧迫骨折、腫瘍浸潤を示唆する所見を認めたことから、多発性骨髄腫の診断が確定しました。

骨髄腫以外でM蛋白血症をきたす頻度の高い疾患にMGUS (Monoclonal Gammopathy of Undetermined Significance)があります。MGUSは、良性疾患で γ -globulinの上昇は

軽度、骨病変もなく、骨髓形質細胞も10%未満です。一部の症例で多発性骨髓腫への移行が見られますので血液内科によるフォローアップが必要です。

解答 多発性骨髓腫

【多発性骨髓腫の最近の治療法について】

血液疾患、特に骨髓腫のような悪性疾患の治療は、抗癌剤による化学療法が中心で予後の改善が得られにくいというイメージを持たれている方も多いと思われます。しかし、その治療は着実に進歩しており、従来の化学療法や局所放射線療法に加え、他の治療選択肢の幅が広がっています。本症例の場合も含め、骨髓腫の治療法について簡単に御紹介いたします。

(1) 化学療法

ステロイドを含んだ化学療法（MP療法や多剤併用化学療法 VAD 療法など）は、今でも高齢者に多い骨髓腫治療の中心的役割を担っています。状況に応じインターフェロンを維持療法に用いることもあります。

(2) 放射線療法

骨痛などの症状がある場合、浸潤部位を中心に局所的な放射線照射を行います。

(3) 骨髓移植

65歳以下の症例では大量化学療法後の自家骨髓移植の成績が通常の化学療法より治療成績がよいとされ、比較的若い症例では、自家骨髓移植が考慮されます。

(4) ビスフォスフォネート (Bisphosphonate)

骨粗鬆症や悪性腫瘍骨転移による高カルシウム血症で使用される薬です。骨髓腫の骨痛や圧迫骨折発症の抑制効果があることが知られ、直接の抗腫瘍効果もあることから、英国ガイドラインでは骨病変の有無にかかわらず早期の使用が推奨されています。

(5) サリドマイド (Thalidomide: THAL)

近年骨髓腫などへの抗腫瘍効果が注目を集めています。従来の化学療法後の再発、治療抵抗例に対する効果が認められています。米国では承認が得られていますが、日本の保険適応開始はおそらく本年度ではな

いかと思われます。副作用の少ない THAL の誘導体 (CC-5013, Revimid) も海外治療中です。

(6) ヴェルケード (Bortezomib, PS-341)

骨髓腫の細胞で活性が高い NF- κ B と呼ばれる発癌に関与する転写因子活性を抑制する、プロテオソーム阻害剤と呼ばれる分子標的治療薬の代表的存在です。従来の化学療法施行後の再発や、治療抵抗性の症例に対する効果が認められています。2003年には米国で承認され、本邦でも今年度中の保険適応が期待されています。

(7) その他

ヴェルケード以外にも、砒素 (Arsenic Trioxide)、BCL2 antisense, Farnesyl transferase inhibitor などが臨床治療中です。

この患者様の場合、化学療法として MP 療法、ビスフォスフォネートを開始、腰部病変部に放射線療法を加え、発症後 10 ヶ月経過していますが、現時点では病勢コントロール良好です。76歳という年齢を考えると（自家）骨髓移植の施行は難しそうです。今後、病勢コントロールが困難になった時、他の多剤併用化学療法や、その時点での保険適応にもよりますが、サリドマイドやヴェルケードなどの新しい治療法などが選択される可能性があります。

従来の化学療法では骨髓腫の余命は平均数年といわれていましたが、分子生物学の進歩に基づく新しい治療の出現により、長期生存も夢ではなくなりつつあります。血液疾患に関する新治療の研究成果は日々塗り替えられ、骨髓腫の治療方針も年々変わっています。専門医はその変化を見据え、その時点で患者様にとって最もよい治療法を選択しなくてはなりません。一方、そのような時代の流れの中にあっても、やはり大切なのは、日常診療での病気の早期発見であろうかと思えます。

最後となりましたが、まだまだ不勉強であるがゆえ、説明の至らぬ点など多々ある事をお許しください。

感染症だより

あけましておめでとうございます。西年は去りましたが新型インフルエンザをはじめ感染症流行の脅威がさらに増しています。今年も感染症発生動向に注目し日々の備えを強化していきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

<全数報告>

第47週(11.21～27)から第50週(12.12～18)のあいだに全数報告対象の感染症の報告は、四類感染症のつつが虫病1件、五類感染症の梅毒1件で合計2件ありました。前月に続いてつつが虫病の報告がありましたが、刺された時期は2件とも10月の中旬でした。

2005年になってから西多摩保健所への報告は、二類感染症の細菌性赤痢1件、四類感染症のつつが虫病3件、E型肝炎1件、レジオネラ症1件、五類感染症のアメーバ赤痢3件、後天性免疫不全症候群1件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件、梅毒2件で総数は13件です。

<定点からの報告>

	47週 11.21～27	48週 11.28～12.4	49週 12.5～11	50週 12.12～18	2005年 累計
RSウイルス感染症	0	3	3	2	8
インフルエンザ	0	0	0	1	3,039
咽頭結膜熱	7	3	3	5	179
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	6	9	9	290
感染性胃腸炎	40	78	123	122	1,390
水痘	15	9	9	17	333
手足口病	2	1	1	0	466
伝染性紅斑	0	0	0	0	38
突発性発しん	2	1	1	5	111
百日咳	0	0	0	0	0
風しん	0	0	0	0	4
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	192
麻疹(成人以外)	0	0	0	0	2
流行性耳下腺炎	10	4	15	11	505
不明発疹症	0	0	0	0	0
MCLS	0	0	0	0	0
合計	84	105	164	172	6,557

※ マイコプラズマ肺炎(基幹定点): 47週5名・49週4名。

<コメント>

- 48週に今年初めてRSウイルス感染症の報告があった。その後も複数の定点から報告あり。
- インフルエンザの今シーズン最初の報告が50週に1例あきる野定点よりあった。福生市の小学生。また、51週に定点以外の青梅市内の診療所より大人でA型インフルエンザの連絡あり。
- インフルエンザによる学級閉鎖は、多摩地域では、12月6日に八王子保健所管内および多摩立川保健所管内の小学校であった。どちらもA香港型が検出された。西多摩保健所管内では12月20日現在インフルエンザによる学級閉鎖はない。
- 感染性胃腸炎の報告数は、ほぼピークに達したと思われる。昨シーズンのピークは50週で定点あたり18.0件だったが今シーズンは49週で24.6件と多い。例年3月半ばまで流行が続くので高齢者施設・乳幼児施設・学校では特に注意。

<感染症に関するお問い合わせは保健所へ>

保健所では、地域の感染症対策の拠点になるよう情報発信に努めています。西多摩保健所ホームページ <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/nisitama/index.html> にアクセスし「感染症に関すること」をクリックして下さい。東京都感染症情報センターにもリンクしています。

感染症発生動向調査(サーベイランス)は、先生方のご報告があつて初めて機能します。本年もご協力をお願い申し上げます。
(文責: 西多摩保健所保健対策課)

第4回西多摩医師会臨床報告会のご案内及び演題募集について

日 時：平成18年3月22日(水) 午後7時30分から9時30分

開催場所：青梅市立総合病院 3階講堂

演 題 募 集

西多摩医師会会員の皆様の臨床での貴重な経験を発表してください。

演題名および抄録を西多摩医師会へ FAXしてください。

発 表 者：西多摩医師会会員に限ります。

コメディカルのご発表は会員との共同発表になります。

発表希望者が多数の場合、次回発表とさせていただくことがあります。

発表内容：症例報告、臨床研究、医院の運営方法、その他会員が聞いてためになることなら何でも構いません。

発表時間：1 演題10～15分でご発表いただき討論を含めて20分の予定です。

応募要領：発表内容を400字程度にまとめてFAXしてください。

発表者の抄録は、医師会会報に記載します。

尚、スライド・OHP等使用を明記して下さい。

募集期間：平成18年1月10日(火)～平成18年2月28日(火)

医療介護フォーラム 公開シンポジウム 2006

「人口減少社会における医療・介護制度改革の方向性」

日時：平成18年1月20日(金) 18:45 開場 19:15 開演～20:35終演

会場：特別養護老人ホーム ヨコタホーム 4階ホール

講演：社団法人日本経済団体連合会 国民生活本部 松井博志 本部長

入場無料

主催：医療法人社団 光輝会 医療介護フォーラム

東京都福生市志茂35-1

TEL：042-530-0221

E-mail：forum@photon.or.jp

URL：http://www.photon.or.jp

後援：読売新聞東京本社

社会福祉法人東京都社会福祉協議会



伝言板

① 第39回青梅糖尿病内分泌研究会

日時：平成 18 年 1 月 18 日（水）20：00～21：00

場所：青梅市立総合病院 新棟 3 階 セミナー室

内容：(1) 糖尿病治療薬の最近の話題

(2) 症例提示 東原診療所 大山 高広 先生

(3) 最近の話題

症例をご呈示いただける場合は、前もって FAX にて青梅市立総合病院内分泌代謝科 原のところまでお送りいただけると幸いです。当日ご持参頂いても結構です。

東原診療所 大山 高広 先生

TEL 0428-33-9250 FAX 0428-33-9251

青梅市立総合病院 院長 原 義人

TEL 0428-22-3191 FAX 0428-24-5126

② 平成18年新年 賀詞交歓会

日 時：平成 18 年 1 月 21 日（土）18：00～

場 所：青梅市福祉センター（スイートプラム）ふよう

会 費：5,000 円

③ 介護保険主治医研修会

日 時：平成 18 年 1 月 26 日（木）19：30～

場 所：西多摩医師会館

講 師：玉木副会長

福生市介護福祉課長 古谷 久雄 先生

④ 市民健康講座

日 時：平成 18 年 1 月 28 日（土）14：00～

場 所：青梅市福祉センター（スイートプラム）2 階集会室

演題及び講師

(1) ウイルス性肝炎と最近の治療法

青梅市立総合病院 消化器科 部長 野口 修 先生

(2) 肝臓病における食事療法

東海大学医学部附属八王子病院 消化器内科 助教授 白石 光一 先生

⑤ 第3回西多摩消化器疾患カンファレンス

日時：平成18年2月17日（金）19：30～

場所：青梅市立総合病院 南棟3階 講堂

⑥ パネルディスカッション「呼吸器疾患」

日時：平成18年2月25日（土）14：00～17：00

場所：青梅市立総合病院 南棟3階 講堂

テーマ：「びまん性肺疾患」

司会：西多摩医師会学術部長 細谷 純一郎 先生

1. パネルディスカッション

座長：佐野内科クリニック 佐野 茂男 先生

(1) 「間質性肺炎について」 公立阿伎留病院 呼吸器科 水村 賢司 先生

(2) 「サルコイドーシス・過敏性肺炎（HP）について」

公立福生病院 内科 松原 弘明 先生

(3) 「薬剤性肺炎について」 青梅市立総合病院 呼吸器科 立石 知也 先生

2. 症例検討

進行係：青梅市立総合病院 呼吸器科 大玉 信一 先生

出題：青梅市立総合病院 呼吸器科 遠藤 泰之 先生

⑦ 市民参加型フォーラム「介護予防って、なあ～に？」

日時：平成18年3月10日（金）午後7時～9時

場所：福生市市民会館 小ホール

福生市福生 2455（JR牛浜駅下車 徒歩3分）

駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください

参加費：無料（午後6時受付開始）

対象：一般市民の方々および医療福祉関係者

《第1部》基調講演

おたっしや21による介護予防

講師（東京都老人総合研究所介護予防緊急対策室長）大 淵 修 一 先生

《第2部》パネルディスカッション

平成17年度福生市おたっしや健診報告

パネリスト（福生市福祉部介護福祉課長）古 谷 久 雄 先生

介護予防と医師の役割

パネリスト（東京都医師会理事）玉 木 一 弘 先生



同好会短信

写真部写真展



第36回西多摩医師会写真部写真展が12月6日(火)～12日(月)まで羽村市コミュニティセンター2階ロビーにて盛大に開催されました。参加会員12名、53点の出展がありました。12月14日恒例の写真品評会が、写真家 柳内正義先生をお迎えし行われました(写真)。

その時に話題となった会員の方々の自慢の一点を2月の医師会報に掲載する予定です。写真に興味のある会員は、写真部の松原部

長までご一報下さい。次回は平成18年6月頃を予定しております。(文責：細谷純一郎)



地区だより



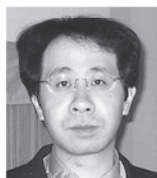
あきる野地区

あきる野地区忘年会

12月9日、あきる野市の銀波において、医師会と市健康課の合同忘年会兼保健医療連絡会が開催されました。小机地区長より将来の市民検診のありかたについて、阿伎留病院の岡田病院長よりリニューアルされる病院の紹介、福祉部長の私市氏より疾病予防の啓蒙についてそれぞれ挨拶され、瀬戸岡先生の乾杯の後、お酒と料理を楽しみました。普段、

ゆっくりと話す機会のない市の職員の方々や会員同士で、母子保健や予防接種の苦労話などで盛り上がり、健康課と医師会の親睦がいつそう深まりました。毎年恒例のビンゴ大会で豪華賞品をゲットし、そのままカラオケ大会に突入しました。葉山先生の歌声にシビレ、盛況のなか、伊藤、近藤両先生の手締で閉会しました。強い寒波の中、熱い夜となりました。健康課の皆さん、ありがとう！

(文責：鈴木道彦)



羽村地区

羽村地区忘年会

去る、12月5日、羽村市医師会忘年会が例年通り、『割烹 かつら』にて行われた。

まず、今年一年を振り返り、横田会長より国内の大雨災害、JR西日本列車事故、最近の耐震強度偽造問題やインド・パキスタン沖大地震による災害などにつき、挨拶があり続いて、現羽村市長・並木心氏より来年以降、

施行されるであろう医療保障問題についてのお話を頂いた。

堤先生の乾杯の後、会が始まると和やかな雰囲気の中、各会員が今年一年の思いや、来年以降の意気込みにつき、思い思いに話を巡らせ、更なる会員間の親睦を深めた。

また、今回、羽村市より自治功労賞を受賞された松田先生、松原先生へ医師会よりささ

やかではありますが、お祝いの花束の贈呈が行われ、最後に真鍋先生より来年以降も会員同士の団結を深め頑張らしようとの挨拶で締めが行われた。

私自身まだ、当医師会に入会し、2年の若輩ではありますが羽村市医師会の団結の強さを改めて知る機会となったことを報告します。

(文責：真愛眼科医院 武藤芳徳)

各部だより



学術部

Information



《1月》

西多摩医師会学術講演会のご案内

- 1** 日 時：平成18年1月19日（木）19:30～
 場 所：青梅市立総合病院 南棟3階講堂
 演 題：『Caチャンネル拮抗薬の抗動脈硬化作用を裏付ける分子基盤』
 東京医科歯科大学大学院
 医歯学総合研究科病態代謝解析学 助教授 吉田雅幸先生
- 2** 日 時：平成18年1月20日（金）19:30～
 場 所：青梅市立総合病院 南棟3階講堂
 演 題：『心房細動に対する ARB の新たな可能性』
 福岡大学医学部循環器科 講師 熊谷浩一郎先生

《学術講演会要旨》

日時：平成17年12月8日（木）

演題：「睡眠時無呼吸症候群の臨床」

講師：前日本大学医学部呼吸器内科教授 堀江孝至先生

睡眠時無呼吸症候群（Sleep Apnea Syndrome：SAS）は1976年にGuilleminaultによって定義されたが、その後本疾患への関心が経年的に高まり、多くの基礎的、臨床的な研究成果が報告されている。1993年にアメリカ睡眠障害調査委員会がまとめた“Wake Up America”という報告書には、睡眠障害に伴って発生した様々な重大な事故例が記載されている。SASは睡眠障害の重要な一原因疾患であるが、わが国では2003年に報じられたJR山陽新幹線の居眠り運転士がSASと診断されたことから、一気に社会的な関心が高まった。本症は特に肥満者に多く認められ、アメリカでの有病率は男性で4%、女性で2%とする報告が広く引用されている。わが国で肥満者は少ないにもかかわらず欧米並の有病率が推定されているが、本症の認識はまだ低いのが実状である。

本症患者は、睡眠中に反復する無呼吸や低呼吸のため頻回に覚醒する結果として昼間に著しい眠気を認める。その影響は社会的にも問題で、交通事故歴を詳細に検討した報告では健常対照者の7倍、また一般ドライバーの2.5倍の頻度で交通事故が生じることが指摘されている。また、SAS患者は、高血圧、不整脈、冠動脈疾患、脳血管障害、肺高血圧、うつ血性心不全などの循環器系合併症を伴う頻度が高いことも重要である。この原因として、年齢、肥満度、無呼吸の重症度などの関係が検討された。アメリカの多施設合同の大規模研究ではSASの重症度と高血圧との直接的な関係が報告され、また心不全や脳血管障害の発症がSAS重症度と相関することも報告されている。無治療の無呼吸頻度の高い症例では予後不良なことも報告され、適切に診断され治療が行われれば事故を減少させ、合併症を予防し、予後が改善されることが明らかにされており、適切な対応が必要である。本講演では保険適応となっているCPAP治療、歯科装具を解説する。

問題はSASに関する認識が十分ではなく、診断や治療に対応できる専門的な施設が足りない実状である。社会的啓蒙の推進と共に、医療者がSAS患者の特徴を理解し、睡眠障害の存在を疑って専門施設に紹介し、早期に適切に診断し治療する対応が求められる。

● 理事会報告 ●

★ Information ●

11月定例理事会

平成17年11月22日(火)

西多摩医師会館

〔出席者：真鍋・小机・横田・伊藤・神尾・酒井・田坂・中野・野本・細谷・松原〕

【1】報告事項

1. 都医地区医師会長協議会報告（会長）

(1) 都医からの伝達事項

- ① 「国民皆保険制度を守る国民集会」の開催について
12月3日(土) 午後3時30分～ 日比谷公会堂
- ② 定期予防接種（麻しん・風しん）接種勧奨ポスター配布について
- ③ 東京都における新型インフルエンザ対策について
- ④ 在宅難病患者訪問診療事業の実施報告（平成17年度第2四半期）について
西多摩は1例
- ⑤ 生活保護法患者の重複診療について
- ⑥ 日本医師会認定産業医制度における研修会の開催予定について

2. 西多摩産業保険センター事業の実地監査結果について

11/22 東京労働局担当官 4 名による監査

センター長、伊藤理事、細谷理事、事務長が立会い、概ね良好。

3. 各部報告（各担当理事）

総務部：11/10「ぜん息患者重症化防止講演会」報告

会員・関係者 39 名参加（12 月号 2 ページ参照）

学術部：11/19 多摩医学会研究発表会報告

12/8 学術講演会（公立阿伎留病院）

「睡眠時無呼吸症候群の臨床」

日本大学医学部前医学部長 呼吸器内科教授 堀江 孝至先生

保険部：11/16 市町村国保主務担当者との懇談会報告

行政側 15 名、医師会 6 名 出席

会員よりの質問事項は基金より回答された。

18 年 /1/26（木）介護保険主治医研修会 西多摩医師会館

講師：玉木副会長、福生市介護福祉課長 古谷久雄先生

4. 地区会よりの報告（各地区理事）

青 梅：1/13 新年会

基本健診の一部有料化については直接西多摩医師会と協議するよう要望。

福 生：12/9 忘年会、1/18 新年会。

羽 村：12/5 忘年会、11/22 地区会、11/28 三師会忘年会。

あきる野：11/21 ケアマネージャーとの懇親会。

12/9 忘年会。

瑞 穂：欠席。

日の出：11/15 町と来年度の保健衛生事業における変更点について協議。

5. その他

12/20（火）移動理事会

場所 あきる野市戸倉「メリダ」

【2】報告承認事項

1. 入会会員について —— 承認 ——

B 会員：青梅成木台病院 1 名 公立阿伎留病院 1 名

2. 西多摩保健所「子育て支援推進会議委員の選出」について —— 承認 ——

新井理事に決定。

3. 青梅市立第三中学校学校医の推薦について

青梅地区で協議。

4. 新町クリニックの入会金について

【3】協議事項

1. 平成 17 年度第 2 回定時総会迄の日程について
各自確認のこと。
2. 8 市町村からの予防接種事業等協力金について —— 承認 ——
3. 予防接種法施行令の一部改正に伴う接種費用の軽減要望に対する回答（案）について
平成 18 年度に限り、平成 18 年度中に 1 歳以上 2 歳未満となる、麻疹又は風疹のいずれか一方の単抗原ワクチンの接種を受けている幼児については公費接種をする。
4. クリスマス会(本号 3 ページ)、少年野球教室(本号 6 ページ)救護班 小机副会長、瀬戸岡理事、
新年賀詞交歓会について

12月定例理事会**平成17年12月13日(火)****西多摩医師会館**

〔出席者：真鍋・小机・横田・新井・伊藤・酒井・中野・野本・原・松原・足立〕

【1】報告事項

1. 第1回西多摩少年野球教室報告（本号6ページ）
12月4日開催 あきる野市民球場 講師現役、OBプロ野球選手7名
参加チーム33（監督、コーチ、選手合計 379名）
2. クリスマス会収支報告
3. 各部報告（各担当理事）
学術部：1月28日「市民健康講座」内容について
第4回西多摩臨床報告会 18年3月22日（水）開催
場所 青梅市立総合病院 講堂
演題募集の詳細は別紙（本号11ページ）
公衆衛生：12月1日 17年度都医在宅難病実施協議会報告
実施状況報告書、ケース検討会報告書を変更（平成18年4月～）
病院部：「介護フォーラム」内容について
地域医療部：12月8日 西多摩保健所において子育て支援会議
4. 地区会よりの報告（各地区理事）
青 梅：基本健診の一部有料化は来年度は行なわない。
福 生：欠席。
羽 村：12/5 忘年会、松原先生、松田先生、三枝先生に自治功労表彰。
あきる野：12/9 忘年会。
瑞 穂：12/14 忘年会。
日の出：欠席。

5. その他

平成18年2月18日(土) 西多摩三師会市民講座「花粉症について」

【2】報告承認事項

1. 入会会員について ―― 承認 ――

B会員：鈴木慈光病院 1名

2. 都立青梅総合高等学校学校医の推薦について ―― 承認 ――

内科医：片平潤一会員、眼科医：三田哲夫会員、耳鼻咽喉科医：奥野 仁会員

3. 都立羽村高等学校学校医（内科医）、産業医の推薦について ―― 承認 ――

渡部英一会員

4. 新年第一回の定例理事会について

恒例により休会とする。

【3】協議事項

1. 平成18年度職員給料について ―― 承認 ――

2. フリーターキング

来年度事業予算など

市民コンサート、野球教室は来年度以降も行うか？行った場合の費用はどこから出すか？費用の規模は妥当か？

3. その他

○河辺セントラル医院（五十嵐敬晃院長）西多摩保健所へ休業届出済
（平成17年11月11日～18年5月31日まで）

住所変更など手続きは未済

○年末年始の医師会館休館について

12月29日（木）～1月4日（水）

但し28日（水）は正午まで

12月移動理事会

平成17年12月20日（火）

あきる野市 メリダ

〔出席者：真鍋・小机・横田・伊藤・神尾・瀬戸岡・中野・野本・原・細谷〕

【1】報告事項

1. 都医地区医師会長協議会報告（会長）

(1) 都医からの伝達事項

- ① 厚生労働省作成の『医療・介護関係事業者における個人情報の適正な取扱いのためのガイドライン』に関するQ&A（事例集）」の追加Q&Aについて

警察からの捜査照会については本人の同意を得ずに回答しても違法ではないが、捜査官の役職・氏名を確認し、求めに応じ提供したことを後日説明できるようにしておく。

- ② 平成 18 年度からの基本健康診査のあり方について
チェックリスト（案）を検討中
- ③ 「スペシャルオリンピックス日本」関連事業映画「ビリーブ」広報協力について
- ④ 第 4 回都民公開講座について
- ⑤ 平成 16 年度東京都産業医の活動実績について
- ⑥ 主治医意見書の記載に係る対価について
アンケート結果は 70%が現状維持
- ⑦ 国民皆保険を守る国民運動（署名運動）について
署名活動を 12 月末日まで期間延長

2. 各部報告（各担当理事）

学術部：学術講演会（1/19、1/20、2/10、2/15、3/1）、パネルディスカッション（2/25）、
介護保険主治医研修会（1/26）、市民健康講座（1/28）

公衆衛生：12 月 14 日 都医にて感染症管理対策担当理事連絡会
東京都の新型インフルエンザ対策についてほか

3. 地区会よりの報告（各地区理事）

青 梅：1/13 新年会

福 生：欠席。

羽 村：特になし。

あきる野：特になし。

瑞 穂：欠席。

日の出：特になし。

4. その他

12/20 総務会

○移動理事会の交通費は実費ではなく、現状維持とする。

○医師会の公益事業は医療に関連性があるものとする。

【2】報告承認事項

1. 入会会員について ―― 承認 ――

A会員：鈴木史朗（武蔵野台病院・青梅）、富家 孝（あきる台クリニック・あきる野）

退会：鈴木良亮（死亡退会）

2. 平成 17 年度青梅市立第三中学校学校医の推薦について ―― 承認 ――

鈴木史朗会員を推薦（鈴木良亮会員退会のため交代）

任期 18 年 3 月 31 日まで

【3】協議事項

1. フリーターキング

西多摩歯科医師会に障害者・要介護高齢者で「かかりつけ歯科医」を持っていない人のための「かかりつけ歯科医」を紹介する相談窓口がオープンした。この件について歯科医師会会長より協力依頼があった。（ポスターができれば待合室に掲示する等）

2. その他

○「医療懇」18 年 2 月 4 日（土）魚観荘にて 13 時 30 分～
議題について

○新年賀詞交歓会出席者本日現在 来賓 18 名、会員 20 名

○平成 17 年度定時総会までの日程について
各自確認のこと

会員通知

- 会報
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 平成17年第3期請求書
- 高齢者インフルエンザ予診票の在庫について
- 介護保険主治医研修会のご案内（1/26）
- 第3回西多摩消化器疾患カンファレンス症例募集のお知らせ
- ポスター「親医療証をお持ちの方へ」の掲示について（依頼）・ポスター
- 平成17年度都医主催「日医生涯教育講座」の追加開催について
- 健康西多摩21（ほけんじょだより）
- 民間救急やサポートCabのご案内は!!東京民間救急コールセンターへ

- 知っていますか？乳がんのこと～もっともっと自分の乳房に関心を！～
- 市民健康講座ポスター・チラシ
- 日医生涯教育講座
- 新年賀詞交歓会のご案内



お知らせ**事務局より お 知 ら せ**

平成18年2月(1月診療分)の

保険請求書類提出**2月8日(水)**

—— 正午迄です ——

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談ください。

- ◎相談日 1月は11日(水)
 2月は8日(水)の予定です。
- ◎場 所 西多摩医師会館和室
- ◎内 容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
 刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

社団法人 西多摩医師会

平成18年1月1日発行

会長 真鍋 勉 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 野本 正嗣

瀬戸岡俊一郎 石井 好明 桂川 敬太 込田 茂夫 坂井 成彦

鈴木 道彦 馬場 眞澄 葉山 隆 細谷純一郎

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……
(株)武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する
F・S サービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659



一般医薬品
医療機器卸

酒井薬品株式会社

福生営業所 〒197-0013 東京都福生市武蔵野台2-34-4

TEL (042) 553-3211 (代)

本社 〒181-8551 東京都三鷹市野崎1-11-22

TEL (0422) 47-2131 (代)

営業所 小平・八王子・町田・川越・相模原・伊勢原